



お客様のシステム開発を支えるアプリケーションフレームワーク、「FUJITSU Software INTARFRM (インターファーム)」(以下、「INTARFRM」)のProfessional Editionを強化し、「INTARFRM Professional Edition V16」の販売を開始しました。

【ここがポイント】

- ① CI (※) ツールを容易に使えるCI支援機能を提供
- ② リポジトリで管理可能な設計情報の拡充
- ③ ブラウザからの設計ツール利用を実現

※CI : Continuous Integrationの略。ソフトウェア開発において、ビルドやテストを頻繁に行うことで問題を早期に発見し、開発の効率化や納期短縮を図る手法のこと。

## INTARFRM とは

- INTARFRMは、アプリケーションのLCMを支える富士通標準のアプリケーションフレームワーク
- INTARFRMの5つの特長

- |          |  |   |  |
|----------|--|---|--|
| <b>1</b> |  | <p><b>ずっと使える</b><br/>～ソフトウェアのライフサイクルに対応～</p>        | <p>設計情報のリポジトリを核とした首尾一貫した手法により、設計から保守にいたるまでのソフトウェアライフサイクルに対応し、アプリケーションを長期に成長させるお手伝いをします。</p>      |
| <b>2</b> |  | <p><b>いつでもどこでも開発できる</b><br/>～インターネット環境への対応～</p>     | <p>時間と場所の壁を越えた開発環境が離れた場所の人々をつなぎ、設計工程の品質を飛躍的に向上させ、開発期間の短縮が可能です。</p>                               |
| <b>3</b> |  | <p><b>さまざまな条件下で動かせる</b><br/>～最新技術への対応～</p>          | <p>オンプレミスでの運用だけでなく、クラウド (SaaS) 環境での運用にも対応します。SOAの適用により他システム連携を容易にします。</p>                        |
| <b>4</b> |  | <p><b>いろいろ選べる</b><br/>～幅広い言語・アーキテクチャーに対応～</p>       | <p>設計や保守のニーズに合わせた開発スタイル (ライフサイクル重視型、機動力重視型) をご提案します。また、複数の開発言語やシステム形態を選択することができます。</p>           |
| <b>5</b> |  | <p><b>みんなが使える</b><br/>～当社グループのノウハウをお客様のプロセス改善に～</p> | <p>開発言語やシステム形態に依存しない開発ノウハウと開発スタイルを確立しています。また、富士通グループのノウハウを結集した標準化・作業プロセスを整備し、プロセス改善をお手伝いします。</p> |

## 「INTARFRM Professional Edition V16」の特長

- CIツールを容易に使えるCI支援機能を提供
  - 各種CIツールの設定、実行のスケジューリング、実行および実行結果確認を管理できるCI支援機能
  - CIツールに必要な自動テストのテストスクリプトは、リポジトリの設計情報から画面で容易に作成可能
  - 設計情報を元にした自動テストを実行可能
    - テストスクリプトを記述するようなCIツールを扱うためのスキルがなくとも容易にCIツールを活用でき、Webアプリケーションの設計からテストまでをシームレスに進めることが可能
- リポジトリで管理可能な設計情報の拡充
  - リポジトリで管理できる設計情報を従来の2倍に拡充
  - 画面遷移図や画面レイアウト、テーブル関連図など、ビジュアル要素の設計情報を新たに管理可能
    - 従来リポジトリとは別に管理していたことにより発生していた項目名の不一致などから起こるミスを、リポジトリで一元管理することで減らすことができ、設計品質の向上を実現
- ブラウザからの設計ツール利用を実現
  - 設計情報の入力やプログラムを自動生成する設計ツールを、ブラウザから利用できるようにしました。
    - ブラウザさえあれば、どこでも設計ツールが利用可能

# INTARFRMが管理する設計情報

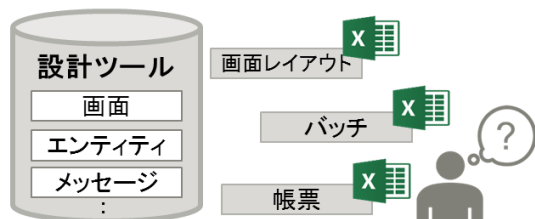
アプリケーション開発に必要な設計情報を幅広く管理

- 設計ツールの入力チェックにより、漏れや曖昧さのない設計が行えます。

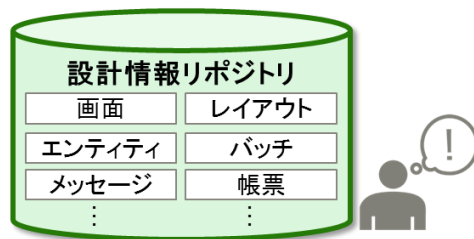
- ◆ 画面項目 ◆ テスト設計 ◆ エンティティ ◆ メッセージ ◆ バッチ
- ◆ アクション ◆ 画面レイアウト ◆ 帳票 ◆ 言語情報 ◆ など

## 整合性のとれた設計情報を管理し、高品質な設計を実現

従来 設計情報ごとに管理方法が異なり  
メンテナンスが困難



INTARFRM 設計情報を一元管理することで  
メンテナンスが容易

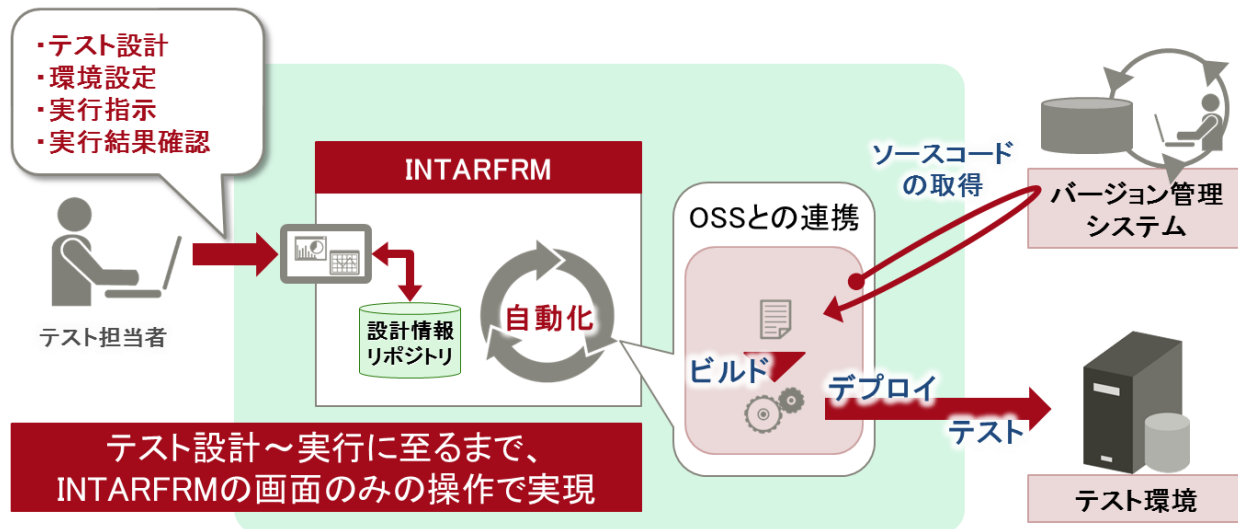


## CI支援機能のご紹介

INTARFRMが各種OSSと連携し、テスト自動化を支援

- 開発作業におけるビルド・デプロイ・テストを自動化  
テスト：Webシステムのブラウザテスト（画面テスト）
- 自動化により手作業を排除し、テスト品質を向上

| 利用可能なOSS          |          |
|-------------------|----------|
| Git or Subversion | Selenium |
| jenkins           | Chef     |
| Maven or MSBuild  |          |



テスト設計～実行に至るまで、  
INTARFRMの画面のみの操作で実現

## 価格とライセンス

| 製品分類   | 価格（税別）   | ライセンス単位 |
|--------|----------|---------|
| 設計支援機能 | 10万円～（注） | ユーザー    |
| 開発支援機能 | 10万円     | 開発PC    |
| 実行機能   | 30万円～    | プロセッサ   |

（注）CI支援機能を付加した価格は15万円（税別）